



さつま町社会福祉協議会

さつま町地域包括支援

センターだより

No. 2

平成28年1月号

さつま町地域包括支援センター

(さつま町社会福祉協議会)

宮之城屋地 2030 (宮之城郵便局隣)

TEL 0996-52-4690

FAX 0996-52-4691

平成27年4月から、さつま町から委託を受け、さつま町社会福祉協議会が地域包括支援センターの事業運営を行っております。

設置場所は、宮之城郵便局のとなりです。お気軽にお立ち寄りください。



《 私たちはこんな仕事をしています 》

介護や福祉、保健などお年寄りが生活するうえでのさまざまな相談に応じます。

- ◆要支援者にかかる介護予防プランを作成し、在宅での安心した暮らしを支えます。
- ◆在宅介護支援センターと連携して、高齢者や家族の介護、保健、福祉に関する様々な相談や、高齢者の安心した暮らしや権利擁護、虐待の早期発見・防止などの各種相談に応じます。
- ◆高齢者サロンでの出前講座を開催します。
- ◆認知症の方や独居の高齢者等が、住み慣れた地域で生活するため、さまざまな支援を行います。
 - 認知症キャラバンメイトや認知症サポーターの養成します。
 - 家族介護者の介護力向上・交流・リフレッシュなどのため、「介護者の語らう会」を開催します。
- ◆地域のケアマネジャー支援や地域包括ケア（高齢者を地域で支える仕組みづくり）を推進します。

○「ケアマネ井戸端会議」（研修会）や「介護従事者の勉強会」を開催します。

○民生委員・在宅福祉アドバイザー・医療機関・介護福祉施設・警察・消防など地域の社会資源を活かし「地域ケア会議」の開催や関係機関とのネットワークづくりに努めます。

- ◆在宅医療多職種研修会の開催や自宅での看取り等在宅医療にかかる各種相談に応じます。

◎平成27年度から
高齢者元気度アップ
ポイント事業関係
は、役場の介護保険
課包括支援係で行っ
ています。



- ◆ 介護保険を利用したいけど、どうしたら良いか分からない？
 - ◆ もしかしたら、認知症かも？
 - ◆ 介護で疲れている、介護している方と話をしたい、相談したい。
 - ◆ もしかして、これって、虐待(ぎゃくたい)になるの？……
- など、ご心配なことがありましたら、地域包括支援センターにご相談ください。



電話：包括直通 52-4690 ファックス： 52-4691



申し込み不要 出入り自由 無料

オレンジカフェ ほうかつ

第1・第3月曜日
営業中！！

カフェの日 一覧



曜日	開 催 日								
時間	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1・3月曜日 9時半～11時半							18日・25日	1日・15日	7日・28日

もの忘れが気になる方や 介護で悩む方に 訪ねていただきたいカフェです。
お茶を飲んで ちょっとホッとしませんか？
心と体をリフレッシュ！皆でのんびり お話を楽しんでください。



担当のオレンジリーダーが、うちわを使った風船バレーを提案され、94歳の方もハッスルされ、楽しめました。



オレンジリーダーとボランティアの方々に、フラダンスをご披露いただきました。みなさん、とても喜ばれました。



この日は、家族同伴で参加される方や認知症の夫を介護している方の参加がありました。



ある方から、薬の飲み忘れの相談がありました。皆さんで、どうすれば飲み忘れを防げるか、話し合いました。



「介護者の語らう会」

在宅で介護をされている家族の方
日頃、悩んでいることや考えていることを
話したり聞いたりしながら、ちょっと気分転換
してみませんか？

〈次回予定〉

2月25日（木）

（※初めての参加ご希望の方は、
事前にご連絡ください。）

朗読あり、ラジオ体操あり、カフェの最後は、みんなで童謡を大合唱です。



冬は特にご注意！



ノロウイルスによる食中毒やインフルエンザなどの感染症に注意が必要な季節です。



ノロウイルスによる感染について

食品からの感染

汚染された食品、加熱
不十分な二枚貝など

人からの感染

患者のふん便やおう吐
物からの二次感染、飛
沫感染

潜伏期間

感染から発症まで24
～48時間

主な症状

●吐き気、おう吐、下
痢、腹痛、微熱が1～
2日続く。症状がない
場合や軽い風邪症状
のこともある。

●乳幼児や高齢者は
おう吐物を吸い込むこ
とによる肺炎や窒息に
も要注意！



ノロウイルスによる食中毒

予防のポイント

健康管理

・調理をする人はふだん
から食事摂取や家族の
健康状態に注意する。

消毒

調理器具は塩素系の
洗剤で洗ったり、熱湯
加熱しましょう。

手洗い

・トイレに行ったあと
・調理をする前
・料理の盛り付けの前
・次の調理作業に入る前

ていねいに

・指先、指の間、爪の間親
指の回り、手首



生活にリズムをつけて、よい生活習慣を！

高齢になると、食事量が減り、低栄養になったり、毎食後の口
腔ケアが減ったり、年齢とともに膝関節痛などにより、行動範囲
が狭まる傾向にあります。冬期は、外出の機会も減る方も多い
のではないのでしょうか？

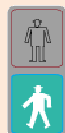
歯や入れ歯の手入れ、口腔体操をして、三度の食事を楽しく
とり、十分な睡眠、適度な身体活動など自立した生活を心がけ
ましょう。（速足で歩いたり、今より1,000歩以上、動くこと！）、



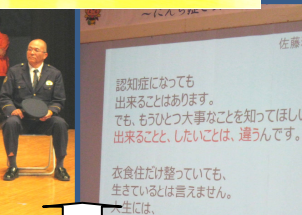
不活発になりやすい冬は、特に注意！

薬は飲みましたか？手洗い・歯みがき・
うがいは？お話していますか？体を動かし
ていますか？

交通ルールを守って安全に！



認知症に関する普及啓発に取り組んでいます。



「第2回 認知症フォーラム in さつま町」では、川柳・さつま狂句の作品表彰、寸劇、トークセッション、講演等がありまし
た。手話通訳もあり、聴覚障がいのある来場者から、「とてもよかった。感動した。」など、多くのうれしい報告がありました。

高齢者の介護に関する相談窓口です。お気軽にご相談ください。

来所・電話・訪問による個別相談や在宅介護支援センターと連携して、地域高齢者や家族の介護等に関する様々な相談、高齢者の安心した暮らしや権利擁護、虐待の早期発見・防止などの各種相談に応じます。また、ご本人・ご家族も住み慣れた地域で助け合い、自立した生活を心がけましょう！ 高齢者元気度アップポイントも貯めましょう！



南薩・鹿児島郡地区の8市町の保健福祉主管課長・保健師・地域包括支援センター職員がさつま町の認知症サポーター養成講座、オレンジカフェ、認知症予防講座、普及啓発活動などの研修にみえました。(27.11.24 来町)

視察来町！



「オレンジカフェ ほうかつ」の
会場見学（当センターにて）



説明並びに意見交換会
（宮之城ひまわり館にて）



新任職員：木佐貫政人

よろしくお願いします。

職員紹介



【センター長兼管理者】川原

【副センター長】下口 【保健師】高柳・下原

【社会福祉士】鶴森・橋ノ口

【主任介護支援専門員】菅原

【介護支援専門員】山下・松山・谷口

山崎・桑波田・中島

【事務職員】浦崎・植園・木佐貫（兼ケアマネ）

★宮之城郵便局隣、鉄道記念館斜め向かい
です。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。



新聞販売元		
至 船木	国道267	至 宮都大橋
屋地	宮之城鉄道記念館	ハローワーク
宮之城郵便局	地域包括 支援センター	宮之城 ひまわり館



《問い合わせ先》 さつま町地域包括支援センター
（さつま町社会福祉協議会）

センター直通 52-4690

FAX 番号 52-4691

役場回線 53-1111（内線 2178）

編集後記

地域包括支援センターに初めて勤務した職員も9
か月が過ぎ、今では、笑顔で業務遂行できているよう
に思います。新年を迎え、職員一同、気持ち新たに、
地域の皆様の自立した生活に寄り添えるセンターを
目指します。お気軽にご利用ください。（川）